



学校だより

学校ホームページ： [横浜市立大道小学校](#)

検索

4月号

横浜市立大道小学校
平成29年4月5日

校長 富岡 正雄

春爛漫、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。

新一年生52名を迎え、全校児童は341名となりました。新しい学年・新しい教室・新しい友だちなど、環境が変わる中、緊張と共に大きな希望とやる気をいただきスタートしたことでしょう。

新たな出発に際し、教職員28名は、**本校学校教育目標【いきいき学び、輝く大道っ子】**の実現に向けて、大きな意識をもって、子どもたちに寄り添い、指導をまいります。

大切にしたい「ピグマリオン効果」

これは、米国の教育心理学者ロバート・ローゼンタールによって提唱された「**人間は期待された通りの成果を出す傾向がある**」という主張です。またの名前を「**期待と成果の相関関係**」と言います。

ある実験の結果、生徒たちは、自分かけられる期待を敏感に感じて、その通りの成果を出したというわけです。

もちろん、そういう結果にならないこともあるでしょうが、「人間は期待された通りの**成果を出す傾向がある**」ということです。

新年度になり、子どもたちは、「今年は、これを頑張るぞ!」という前向きな気持ちになっていることと思います。そういう時に、周りにいる私たちが、【期待をすること】【前向きなきっかけをつくること】で、子どもたちの力を伸ばしていきたいのです。

「10分間だけやる作戦」

一般的に、人は、【何かを始める時が難しい】と言われる。例えば、次の言葉です。

「動き出そうと決意することが大変。そこに、一番力を必要とする。」

「モチベーションを上げないと、取組がスタートできない。」

「何か、良いきっかけがないと、始められない。」

この3つのタイミングまで待ってればいいのですが、いつ、そのタイミングが来るのかわからないので、待ち続けることはできません。

そんな時に、「10分間だけやる作戦」は、どうでしょうか？モチベーションが上がらないから取組まないのではなく、まず10分間だけやってみて、そこからモチベーションを上げていくという意識改革を試みたらどうでしょうか？

その際、子どもたちの周りにいる私たちは、言葉がけだけでなく、

・表情 ・動作 ・やわらかい視線 ・明るい声 ・話し方のテンポアップなど、

いろいろと工夫をしていきたいものです。「10分間だけやる作戦」に挑戦してみませんか？もし、取組が始まって、結果が出てきたら、次の4つの評価をしていきましょう。

- ①取組をスタートした時の決意に対する評価
- ②努力している様子に対する評価
- ③出てきた結果に対する評価
- ④今後も続けるということに対する評価

新年度スタートにあたり、一人ひとりの成長がとても楽しみです。今年度も本校の教育活動に対する御理解・御協力をよろしくお願いいたします。